

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
1	観光対策へのデータ把握や現状分析の不足	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光対策の目指す姿は、計画に示されるとおり、観光客などの増加による「地域経済活性化」が目的であるが、それを測る具体的な目標が設定されていない。 ○ 観光客入込客数を「市内外まとめて」「イベント中心」で、集計することは問題である。これでは効果ある対策が測れないのではないか。 	<p><適切な尺度の設定による分析力強化> 観光庁が提供する「観光客入込客数統計基準」や「経済波及効果簡易測定」などの尺度を利用して、分析力の強化を図るべきである。</p>	④検討課題とする	<p>現在、成果指標として計上している観光入込客数の数値は、イベント来場者数と花久の里、ひなの里の来場者数を計上しているため、観光入込客数統計基準と大きく違いがありません。</p> <p>ご提案のMICE簡易測定モデル(MICE開催による経済波及効果測定のための簡易測定モデル)については、MICEの期間、人数、イベントタイプ、事業費等の情報を入力することで経済波及効果が自動算出されるため、経済指標として一定の効果が期待できるものと考えます。また、埼玉県統計課提供の経済波及効果分析ツール(イベント版)についても経済効果算定には有効と考えています。</p> <p>しかし、経済効果の数値計測をした結果、何%の経済効果なら成功なのか、具体的に判断基準を出すことが難しい側面があります。一方「毎年上昇させる」等の目標管理でも、一定の効果があるとも思われますので、経済効果については、上記指標を参考として調査研究を進めていきたいと考えています。</p>	観光戦略課
2	「観光戦略計画」の位置づけ・内容や進捗管理の不備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戦略計画で明記されている「観光戦略会議」が実施されていないようだが、進捗管理に問題があるのではないか。 ○ 戦略計画で示す「住民参加」の枠組が見えない。 ○ 戦略計画の内容は既存資源の整理が中心となっている。新しい観光資源の掘り起こしも必要ではないか。 	<p><「戦略会議実施の進行管理やメンバー構成の見直し」> 「観光戦略計画(H26作成)」に掲げた具体的戦略がどの程度実施され、未達成の事項は何かなど、早急に検証すべきである。</p>	①既に実施済み	<p>現在の観光戦略計画については、平成26年から平成30年までの期間となっていますが、各事業の実施時期や進捗状況等について検証を行い、第2次観光戦略計画の策定に取り組んでいるところです。</p> <p>平成31年度末には公表予定ですので、こちらをご参照願えれば幸いです。</p>	観光戦略課
3		<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光戦略計画でフラワーバスを活用した観光モデルコースについての記載があるができていない。 	<p><「戦略会議実施の進行管理やメンバー構成の見直し」> 戦略会議は、地元関係者主体で行うと自己満足に陥りがちとなる。外部の声を多数反映できる会議となるよう構成メンバーを見直すべきである。</p>	④検討課題とする	<p>観光戦略会議については鴻巣市観光協会をはじめ商工会、観光関連事業者、市民団体、ボランティア団体を委員として選任しています。今後、審議会等の委員選出については、市全体の検討課題として委員公募や女性登用について検討していく中で、見直していきたいと考えています。</p>	観光戦略課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
4	イベント観光の限界と新たな観光資源の発掘	<p>○ 観光の振興は、「もう一度来たい」と思わせる仕組みづくりが重要であり、既存のイベント観光だけでは限界がある。そのため取組を充実すべきである。</p> <p>○ 本市における「観光」については、「=イベント」というイメージが強く、祭り・花火大会は一過性であり、これだけに力を入れているだけでは、観光の自治体間競争に勝ち抜けないと思う。</p> <p>○ 「イベント主体」の取組では天候や財源に左右されやすく、先行きが不透明であり、観光人口の獲得での確実性は低い。</p>	<p><新たな観光資源の発掘・活用> 近年好評である「コスプレ」なども含めて、効果があるなら積極的に計画に盛り込み、新たな観光資源の活用チャレンジするべきである。</p>	①既に実施済み	<p>4月10日のイベントと合わせて、駅前エリアを中心とした街歩き型コスプレイベント「仮染街(かりそめがい)」が開催されています。このイベントは、2019年4月で5回目の開催となり、新しい観光資源としてのポテンシャルを備えているものと考えています。なお、2019年開催のこうのす花まつりの実行委員会委員としても仮染街の主催者を委員として迎えています。今後も引き続き新たな観光資源の発掘を図っていきたくと考えています。</p>	観光戦略課
5			<p><新たな観光資源の発掘・活用> 観光資源が乏しい中で、まだ違った観光資源があるのか、ポテンシャルを見つめ直すことが必要である。</p>	④検討課題とする	<p>ご提言のとおり、本市の観光は「イベント観光」としてイメージが強く、一過性の集客を超えた展開が必要と考えています。そのため、花久の里やひなの里を観光施設として充実を図ることで、通年型観光を進めていきたいと考えています。また、コスプレをはじめ、埼玉県が推し進めているアニメツーリズムやSNSの活用など数多くのコンテンツを研究し、鴻巣市で活用できないか検討していきたくと考えています。</p>	観光戦略課
6			<p><新たな観光資源の発掘・活用> 観光資源は自然や寺社仏閣だけではなく、免許センターやパークゴルフ場、吹上生涯学習センター、スケートパーク、フラワーバスなどの資源を生かすことが、結果的に観光に繋がるのではないかと。</p>	④検討課題とする	<p>観光として成り立つためには「意味の付与」と「意味の消費」が不可欠です(例えば、「神社」を、アニメの聖地として意味を付与すると、意味を消費するため聖地巡礼として観光客が来る。)。ご提案の「免許センター」や「スケートパーク」等だけに留まらず、新たな観光資源の発掘のため、どのような「意味の付与」を行うことができるのか検討していきます。</p>	観光戦略課
7			<p><新たな観光資源の発掘・活用> 豊かな自然環境の中で、「クラインガルデン」のような施設を整備して、交流人口の獲得を図る取組も、効果的といえる。</p>	⑤現時点では実施しない	<p>クラインガルデン(滞在型市民農園)は、交流人口の拡大を図る取組として有効と考えますが、現在本市では農用地区域を活用した展開としては「道の駅整備事業」を、優先した検討を進めています。 ご提言も参考に、交流人口獲得策について今後とも多角的に検討してまいります。</p>	観光戦略課 産業振興課
8			<p><市外の方や若い人の意見を生かすこと> 新たな観光資源の発掘のためには、市外からの視点や声をもっと取り入れるべきではないか。 また、「若者」「バカ者」「よそ者」とよく耳にするが、新しい発想のため、若者を積極的に活用すべきである。 他の自治体の取組として、新宿区の「女子大生によるワークショップ」、板橋区の「板橋マニア」などは参考になると思う。</p>	②H31年度に着手予定	<p>現在、イベントの来場者を対象にアンケートを実施し、市外の方からの意見も参考にさせていただいております。今後は、他の自治体の情報収集の仕方などを参考にしつつ、市内の学校や包括協定を結んでいる大学にも協力を仰ぎ、若年層の意見を積極的に観光分野に活用していきます。</p>	観光戦略課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
9	観光人口だけにとらわれない、来街人口による活性化	○ 鴻巣市の観光を考える場合、その対象として一般的な観光人口としてとらえるのではなく、本市を訪れる様々な対象者も幅広くとらえて、広い意味での観光人口として、施策を進めるべきである。 そのことが、鴻巣市のネームバリューや活性化に繋がると思う。	<免許センター通りなどのにぎわいの創出> 一番知名度のある「免許センター」を使って、PRしてもいいのではないか。 (例:「免許の街」として免許繋がりやの仕掛けを沢山増やすなど)	④検討課題とする	ご提言のとおり、免許センターへの来訪客を取り込むことは、地域活性化における重要な課題と認識しております。 今後、シティプロモーションの一環として、「鴻巣市といえば免許センター」というイメージを有効活用し、関係部署と協議を行いながら効果的なPR方法を検討していきます	観光戦略課
10		○ 免許センター来訪客は、毎日、市外からの人口数として非常に大きい(H29:2,172人/日)のに、市の活性化のための活用策が図られていない。	<免許センター通りなどのにぎわいの創出> 免許センター通りに、おしゃれなカフェや「まちの駅」などを整備するなど、取り込む工夫をセットで検討するべきである。	④検討課題とする	ご提言を踏まえ、まちづくり・産業部局が一体となり、地元団体とも連携の下、民間参入の可能性を模索してまいります。	観光戦略課
11		○ ソフトボールの全国大会、文化センター、看護協会の研修、ここのすシネマなど、目的に応じ鴻巣市に来訪する人も数多くいるが、その人達がちょっとでも鴻巣市を知り、また立ち寄りきつかけを与えていないのではないか。	<免許センター通りなどのにぎわいの創出> 現実離れしている面もあるが、免許センター通りでは例えば「バス路線」を廃止して、アーケードなども整備することにより、来訪者を歩かせて立ち寄りさせるなどを考えてみてはどうか。 (例:「サッカークラブ V・ファーレン長崎」の、駅からスタジアムへ向かう通りでは、スタジアムまでの歩行距離が長いことから、通りの商店が飲み物を振る舞うなど、歩くことを楽しめる空間づくりが行われている。)	⑤現時点では実施しない	ご提案のとおり、バス路線の廃止は難しいと考えますが、他の市町村の事例を研究いたします。また、アーケードの整備は莫大な予算を必要とすることなどから、現時点では実施はほぼ不可能と考えております。	観光戦略課
12		○ 本市は、大病院や大学、大きな工場などがないため、外部からの来訪者が近隣自治体に比べ少なく、残念である。	<免許センター通りなどのにぎわいの創出> 花まつりなどと併せて、クリア鴻巣で実施していた「花マルシェ」の復活や、中山道と免許センター通りを同時に歩行者天国にすることで、地域の活性化に繋がるのではないか。	⑤現時点では実施しない	「花マルシェ」には莫大な予算が必要なことや、花の拠点において花まつりを開催するというコンセプトから、復活は困難な実情です。 クリアここのす脇のせせらぎ公園では、毎年、びっくりひな祭り開催期間中に駐車場を利用して「パーキングバザール」を実施し、賑わいの創出を図っておりますので、花まつりに限らず、他のイベントでも通り沿いの施設や公園等を利用した催しの実施を検討し、地域の活性化を図ります。	観光戦略課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
13	既存観光資源の見直しやステップアップ	<p>○ 中山道は観光施策の一つの売りであるが、宿場会議・鷹狩り行列は、残念ながら一過性で終わってしまい、観光としての広がりが無い。</p> <p>○ 中山道沿いは、「歴史の道景観モデル地区」に指定されたものの、次のステップアップが見えない。</p>	<p><中山道沿いに残る「生活文化的資源」の活用> 観光資源では、「人文的資源」「自然的資源」「生活文化的資源」の3つが大きな要素である。特に近年では「生活文化的資源」でのニーズが高く、満足度も高い傾向となっている。 このため本市においては、中山道沿いに残る宿場町を活用した街歩き、人形絵付けなどを通して体験ツーリズムを実施するなどの資源の積極的な活用が必要である。</p>	③H32年度以降の着手を目指す	<p>中山道の街歩きイベントにつきましては、昨年度より近隣市町と協力し、中山道(上尾市～鴻巣市)を歩く「駅からハイキング」を実施しております。 今後につきましても、観光協会やボランティアガイド会等の観光関連団体及び近隣市町と連携を行い、来訪者誘致のための体験型ツアー等を積極的に考案・実施してまいります。</p>	観光戦略課
14		<p>○ 花をメインのセールスにするならば、一過性のイベントだけでは意味がないし、効果も少ないと思う。</p> <p>○ 花の鑑賞は「美しい」「きれい」といった観光客の自己満足に近い面もあり、花を見せるだけでは売りになりにくく、限界がある。</p>	<p><年間を通じた花を楽しめる空間や仕組みづくり> 富良野市でのラベンダーから広がった展開は、花による観光地化の成功事例である。こうした実例を参考にして、本市も一年中花を楽しめる仕掛けづくりが、今後は必要である。</p>	①既に実施済み	<p>春の桜まつり、チューリップ祭り、初夏の花まつり、秋のひまわり祭り、コスモスフェスティバルと年間を通して花を楽しめるイベントを開催しておりますので、さらなるPRに努めます。 また、3駅前の花壇も年間を通して季節の花を植栽しており、花のまちのPRに努めており、ご提言を踏まえ充実化に努めてまいります。</p>	観光戦略課
15		<p>○ 市民や民間との協力体制による、ステップアップ対策を考えていかなければならないのではないかと。</p>	<p><年間を通じた花を楽しめる空間や仕組みづくり> フラワーセンターなどを中心に、一年中花で彩られたおしゃれなレストランを作るなど、シンボリックな花の観光拠点が必要である。</p>	①既に実施済み	<p>花で彩られたレストラン等の実現には、民間活力の導入が不可欠な要素であり、様々な側面での実現可能性を模索してまいります。 一方、既存施設として「花久の里」では、飲食ブースと共にバラを中心に1年を通して花の鑑賞が可能な施設として、好評を博しています。 今後整備予定の「道の駅」でも、ひな人形と花のまちを楽しめる仕組みづくりを検討してまいります。</p>	観光戦略課
16			<p><年間を通じた花を楽しめる空間や仕組みづくり> 近年のインスタグラム(無料のスマートフォンアプリなどのサービス)のブームなどを、積極的に活用すべきであり、来訪者が撮りたいと思う場所を作ることが、まず一歩である。 夜景の美しさなどが人気の、近年の鴻神社の盛り上がりは、いい例ではないかと。</p>	①既に実施済み	<p>鴻巣市では、平成30年3月から市公式のインスタグラムを運用しており、鴻巣市に関する観光情報を中心に日々発信しており、フォロワー数等で成果が出ているところです。 今後とも、花のイベントでは、来訪者が撮影したくなるような場所を設けるなど、趣向を凝らした仕掛けを検討してまいります。例えば、インスタグラム風パネルや吹き出しパネル等の活用も検討するなど、鴻巣市のSNSを通じてのPR方法をさらに充実させてまいります。</p>	観光戦略課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
17			<年間を通じた花を楽しめる空間や仕組みづくり> 外部からみて「花の街だな」と感じられるような環境づくりが必要である。	①既に実施済み	各種イベントのほか、多数の方が目に触れる3駅前の花壇や鴻巣駅東口の花時計、市役所前花壇や公共施設の花壇、市内各所のポケットパーク等に四季折々の花を植栽するとともに、花のコミュニティ事業を通じ、補助金活用による、市民協働の花のまちづくりを行っております。 ご提言も踏まえながら、今後も充実化に努めます。	観光戦略課
18			<年間を通じた花を楽しめる空間や仕組みづくり> 春・秋の環境クリーンデーに加えて、フラワーデーを設定して、まちの美化・花の育成を市民運動として盛り上げるイベントを作ってはどうか。	④検討課題とする	ご提言は良いアイデアと考えられますので、実現可能性を検討してまいります。 なお、近年の取組として、日本ではバレンタインデーにチョコレートをプレゼントしていますが、海外のバレンタインを参考に、男女関わらず花を贈り合う「フラワーバレンタイン」を、エルミこうのすを会場に開催し、好評を博しておりますので、今後とも様々な機会を通じた市民を巻き込んだ取組を模索してまいります。	観光戦略課
19			<年間を通じた花を楽しめる空間や仕組みづくり> 市の花バンジーを表示したマンホールや、道路を車で走ると花のメロディが流れるなどのPR方法なども検討してはどうか。	①既に実施済み	現在マンホール蓋については、新規に設置する蓋は市内全域基本的にバンジー柄になっています。また、消火栓においても鴻巣駅前や旧中山道、県道沿いに、バンジー、お雛様、荒川水管橋、花火などの様々なデザインを施したものを設置し、「花のまち」のPRの一つとして活用しているところです。 なお、メロディーロードについては、騒音や設置条件(センターラインのある2車線道路で、カーブ等加減速要素の少ない直線道路であること)、安全面等の問題から、地域住民の理解合意が必要となるため、実施に向けて難しい面もある点をご理解頂きたいと考えます。	下水道課 観光戦略課 道路課
20			<年間を通じた花を楽しめる空間や仕組みづくり> 花の栽培や田園を活かした観光客への体験型のイベントを実施してはどうか。	①既に実施済み	チューリップ祭り、ひまわり祭り、こうのす花まつりやコスモスフェスティバルでは、花畑で摘取り体験を行っており、多数の満足の声を頂いております。また、花のまちならではの花市場見学会や花生産農家施設見学会も実施しており、こちらも好評をいただいております。 ご提言のとおり、体験型の取組は満足度も高いことから、より多くのお客様に花の栽培等に親しんでいただくため、さらなる工夫を施してまいりたいと考えます。	観光戦略課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
21	来訪者の受入れ体制の不備	<p>○ 観光来訪者の窓口拠点である「ひなの里」は、駅から遠く、また駐車場もわかりにくく、砂利敷きで利用しにくい場所にある。</p> <p>○ ものつくり大学には様々な地域からの学生が集まるが、通学の際に吹上駅から大学まで歩く道は、学生たちが親しむ町並みとなっていない。 学生が買い物をしたり、お茶をしたりするところがないため、通過人口になっている。</p>	<p><来訪者の受入体制の充実> 市外からの来訪者に対し、鴻巣駅などで下車した際に、「花のまち 鴻巣」のイメージがわかるよう、改札口や駅前ロータリーで積極的にアピールするべきである(例えば、花のまちの音楽を流すなど)。</p>	①既に実施済み	<p>現在、市外の方の利用が多い市内3駅において、花にちなんだ発車メロディーを採用しているほか、駅前広場においては、花壇やハンギングバスケット等による花の装飾を行い、駅利用者には「花のまち こうのす」をPRしています。 駅前には、本市の魅力をアピールする場として非常に有効ですので、JR等とも連携しながら、更なる魅力的な空間づくりを目指していきます。</p>	観光戦略課 都市計画課
22		<p>○ 他の民間サイトでは、「陸上競技場」が陸王やオリンピックの撮影に使われて、映像映える施設であることを周知しているにも関わらず、市HPでのフィルムコミッションの撮影実績が更新されていない。 効果の高いフィルムコミッション事業に対する考え方が、市は遅れているのではないかと。</p>	<p><来訪者の受入体制の充実> エルミこうのすなど駅前の目につく場所や市外の方が毎日多く訪れる免許センターに、観光案内ブースを設置する必要がある。 また、免許センター内にパンフレットラックを設置できるように、県への働きかけを行うべきである。</p>	⑤現時点では実施しない	<p>エルミこうのす及び免許センターにおける観光案内ブースの設置については、管理者側との調整事項や費用対効果の面から、現時点では難しいのが実態です。 免許センター内のパンフレットラックの設置については、何とか協力頂けるよう、努めてまいります。</p>	観光戦略課
23		<p>○ 民間への観光プロモーション展開が弱いと思う。</p> <p>○ オリンピック、ラグビーW杯も控え、訪日外国人旅行者(インバウンド)の増加が見込まれるにも関わらず、その取り込み策が見えてこない。 また、観光協会のHPが多言語化に対応していない。</p>	<p><来訪者の受入体制の充実> 吹上パークゴルフ場については、観光ツアーをより積極的に誘致するため、周辺環境の整備に力を入れ、使いやすい施設にするべきである。</p>	①既に実施済み	<p>吹上パークゴルフ場周辺の荒川堤外河川敷において、春はポピーと麦なでしこ、秋はコスモスを広大な面積に栽培し、毎年多くの来訪者で賑わいを見せている中、来訪者の中には、パークゴルフに興味を示し、実際にプレーをする方も多くいます。 設置目的は市民を中心とした体育施設としての利用ですが、ご提言のとおり交流人口への期待もできる施設でもあり、今後とも快適に利用できる環境を整備するとともに、市内外へのPRを充実化してまいります。</p>	スポーツ健康課 観光戦略課
24			<p><来訪者の受入体制の充実> フィルムコミッション事業は、鴻巣市を知ってもらうための有効な手段であり、積極的な受け入れ体制の拡充と、積極的な周知を図るべきである。</p>	②H31年度に着手予定	<p>ご提言事項は今後重要な要素と捉えており、より多くの映像関係者に認知してもらえるよう、市HPの充実を図るとともに、特に平成31年度からは撮影実績のある制作会社のスタッフとの人間関係の構築を図り、受入増を目指します。</p>	観光戦略課
25		<p>○ 吹上パークゴルフ場は全国的に有名なスポットになっているが、観光ツアーの行程に組まれているのは、年に数回程度であり、PR不足ではないかと。</p> <p>○ 全体的に観光対策として「おもてなし」不足ではないかと。</p>	<p><外国人旅行者(インバウンド)への積極的な誘致> 広島県のある島では、外国人スタッフを雇用し、外国人旅行者の受入れ強化に努めた結果、効果が出ていると聞く。 市の観光協会でも、例えば中国人スタッフを雇用して、中国人に特化した取組などを検討するべきではないかと。</p>	⑥その他	<p>外国人スタッフを雇用していくことは、有効な手段であると考えますが、予算上難しい面があります。 今後、観光協会と連携し、調査研究をしていきます。</p>	観光戦略課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
26			<p><「おもてなし」の強化> 観光ボランティアガイドの育成に力を入れて、「おもてなし力」の強化を図るべきである。 びっくりひな祭り、花祭り、パンジーマラソンなど、大きなイベントの際には、観光ボランティアガイドなどが観光客に写真を撮ってあげたりすれば、喜ばれると思う。</p>	①既に実施済み	<p>びっくりひな祭りでは、ボランティアスタッフの協力により、観光ガイドや写真撮影など行っており、びっくりひな祭りや花まつりと同時開催している「駅からハイキング」では、神社仏閣など旧跡地で観光ガイドボランティアによる案内も実施しています。 今後も、観光協会と連携を図り、より良いサービスの提供ができるよう努めるとともに、後継者の育成も検討していきます。</p>	観光戦略課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
27	宣伝告知や情報発信の拡充	<p>○ 市民の中でも(特に壮年層)、鴻巣市の観光資源・イベントを知らない人が多い。貴重な発信者となる市民自体へのアプローチが弱い感じがする。</p> <p>○ 一人一人が観光大使になるくらいの気持ちで取組まないと、観光での負け組になってしまう。</p>	<p><市民などによる観光認知度アップのための取組強化> 市民が観光の発信ができるよう、その情報収集のため駅などの場所や広報紙などを効果的に活用して、積極的にインパクトのあるPRをした方がいいと思う。</p>	①既に実施済み	<p>ご提言の重要性は認識する中で、近年では「公式インスタグラム」の開始による投稿の促進や、官民連携ポータルサイトである「このす広場」への市民活動情報の誘導等を実施しています。</p> <p>市民による投稿は、市の賑わい創出に非常に重要な要素であり、今後とも様々な媒体を活用した実施を行ってまいります。</p>	観光戦略課
28		<p>○ 現在の観光大使は、ネームバリューが弱く、また有効に活用されているとはいえない。</p> <p>○ プレスリリースの宣伝効果は絶大であるが、その指標は発表件数で設定されている。むしろ費用対効果の指標で測るべきである。</p>	<p><市民などによる観光認知度アップのための取組強化> 市民一人一人が「市民観光特命大使」のような意識で、SNSなどにより、市の情報を発信できるような仕組みづくりが必要である。 (例:市民のうち500人程度観光特命大使に任命)。</p>	①既に実施済み	<p>近年のSNSはフォロワーになって頂くことで、リポストやタグ付け等により、さらに多くの方へ観光情報等が周知できるようになっており、今後とも、公式SNSに対し、積極的なフォロワー数の拡大に努めます。</p> <p>なお、ご提案いただきました観光特命大使制度等も、有効な手段とも考えますので、検討させていただきます。</p>	観光戦略課
29		<p>川幅うどんはメディアに取り上げられた翌日は売り上げが大きいと聞いている。</p> <p>○ 花やひな人形、花火大会については、他の地域でも多く、有名なイベントが存在するため、本市でのアピール度が弱いと思う。</p>	<p><市民などによる観光認知度アップのための取組強化> 情報化社会の中で、日常的なフォトコンテストなど、SNSを活用して、発信・拡散しやすいイベントを実施することで、市民認知度の向上や市外への発信力強化の向上に取組むべきである。</p>	①既に実施済み	<p>TwitterやInstagramなどのSNSの外、市の広報誌や新聞、観光情報誌等を活用してイベント等の情報を発信しております。今後も、上記を継続するとともに、新たな発信方法を検討していきます。</p>	観光戦略課
30			<p><市民などによる観光認知度アップのための取組強化> 観光大使自身が、直接参加できない場合であっても、市に関する情報を自身のSNSなどで積極的にPRしてもらえよう働きかけることも必要である。</p> <p>また、観光大使は必ずしも有名人だけでなく、市に愛着のある多方面の人から選出してもよい。</p>	①既に実施済み	<p>現在も、市のイベント情報が掲載された観光誌等を観光大使が出演する講演会等にて配布いただくなど、積極的に観光PRしていただけるよう依頼しておりますが、今後ともPR充実化に努めてまいります。</p> <p>なお、観光大使は、市にゆかりがある著名人等で市の観光PRを積極的に取り組んでいただける方を任命しておりますが、今後の人選については、ご提言も参考にさせていただきます。</p>	観光戦略課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
31			<p><市民などによる観光認知度アップのための取組強化> 鴻巣市の観光を含め、市のイメージをアピールするキャッチコピーは、是非、作るべきである。 (例:I♥New Yorkのようなもの) また、逆の発想からネガティブなキャッチフレーズをつけることも、効果的ではないか。 (例:「免許センターしか知られていないまち鴻巣」など)。</p>	④検討課題とする	<p>ご提言のような、主に市外の方に響く「キャッチコピー」により、交流人口獲得や、市民の愛着醸成に結び付いている他自治体の例も認識しておりますが、他方失敗事例も多くみられる状況です。 本市としても、単純に「キャッチコピー」からスタートするのではなく、「何を届けたいか」背景をしっかりと整理した上で、観光分野のみならず広報・シティプロモーション部局等が一体となった取組として、検討してまいります。 また検討要素には、ご提言の「鴻巣」「コウノトリ(幸の鳥)」も参考にさせていただきます。</p>	観光戦略課
32		<p><市民などによる観光認知度アップのための取組強化> 「鴻巣(コウノトリ)」というユニークで幸福な地名を、もっと宣伝してネームバリューを高めることも一つの工夫だと思う。</p>				

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
33	広域観光交流の推進や観光対策の広報	<p>○ 観光客の誘致は、鴻巣市だけの取組では限界があるため、近隣市町との密接な連携を図ることにより、相乗効果を生み出すことが重要である。</p> <p>○ 近年の川幅日本一の取組を吉見町と進めたような展開や、今年の「皆野町の天空のポピー祭り」と「ポピー祭り」とのコラボはいい取組だったと思われるのだが、それ以外の広域連携の枠組が見受けられない。</p>	<p><近隣市町と連携したツアーの実施> 本市・他市を巻き込んだコミュニティバスで回る広域観光ルートの整備、中山道宿場街道のツアー、忍城～石田堤での行田市とのコラボなど、近隣自治体とタイアップした多様なツアーを設定すべきである。</p>	④検討課題とする	<p>近隣市町と連携したツアーの実施については、JR東日本が企画している「駅からハイキング」の中で、中山道上尾宿から鴻巣宿まで散策するハイキングを昨年度から開催していますが、その企画以外にもツアーの実施が出来るように近隣自治体と連携を図りながら検討していきます。</p>	観光戦略課
34		<p>○ 「観光戦略計画」に掲げる友好都市やゆかりのある市町との交流推進は進んでいるのだろうか。</p> <p>○ 近隣の自治体や類似自治体と同様の観光施策をコピーして実施しているだけでは、本市の観光はジリ貧になっていくと思う。</p>	<p><プロフェッショナルの充実による観光振興> 観光振興に携わるプロフェッショナルな市職員の養成（民間への短期研修・職員間交流）や、調査・研究にあたり観光に係る専門の会社に委託するなど、今後、プロ集団の活用が不可欠である。</p>	①既に実施済み	<p>観光振興に携わる市職員の養成については、県主催の講習会や民間旅行会社が主催する研修会に積極的に参加しており、今後とも研鑽に努めます。</p> <p>また、調査・研究の分野については、民間事業者の視点の他に、専門的・実験的な部分は、大学等を巻き込み、官・民・学との連携を図りながら進めてまいります。</p>	観光戦略課

まちづくり市民会議による提案・意見に対する回答について

政策5:産業に関する政策 ～賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり～

施策3 観光の振興

No.	検討課題	現状と問題点	課題や問題を解決するために提案する取組	対応状況	提案・意見に対する回答	回答課
35	施策全体に対する意見		<p><交流人口への対応を計画に反映> 鴻巣市第6次総合振興計画では定住人口を中心にして成果指標を設定しているが、観光施策では昼間人口・一時滞留人口といった交流人口の増加が重要である。このため、そうした要素を、今後のまちづくりや総合振興計画の中での目標設定・施策推進内容として、取り入れる必要があると考える。</p>	③H32年度以降の着手を目指す	<p>ご提言事項は、真摯に検証すべき要素と考えます。 平成34年度に策定する「鴻巣市第6次総合振興計画 後期基本計画」策定時(H32～H33予定)の際に、「基本構想」部分の見直しも含めた総合的な検討を行い、審議会等に諮ってまいります。</p>	観光戦略課 総合政策課
36	施策全体に対する意見		<p><本市観光振興のあり方> ネガティブな意見であるが、本市の観光振興には限界があると思われる。このため、あまり観光対策には背伸びをせず、費用対効果を十分に検討して、取捨選択した上での対応をしてはどうか。地域の振興やまちづくりには、観光とは別の分野での積極的な施策を推進した方が、むしろ良いのではないかとこの考えもある。</p>	⑤現時点では実施しない	<p>ご提言事項のような実情がある点も理解していますが、一方で鴻巣市の観光は「日本一」をキーワードに、「ひな人形」や全国有数の出荷量を誇る「花」等、県内市町村より地域資源は豊富であり、活用の仕方やインバウンドの機会等で、イベント観光からの脱却と経済的成長も可能と考えています。 ご提言は真摯に受け止めつつ、「鴻巣市観光戦略計画」の期間単位(5年)の中で、過去の検証と現状把握を図るとともに、観光産業の充実化に官民連携で取り組んでまいります。</p>	観光戦略課 総合政策課
37	施策全体に対する意見		<p><本市観光振興のあり方> 本市は他の自治体と相対的にみて、観光資源に乏しく観光都市にはなり得ないと思われる。したがって、「観光」という言葉にとらわれ過ぎず、地域の活性化など、広い意味での振興策が、結果として観光の振興にも繋がるという発想に切り替えて観光施策に対処すべきではないだろうか。</p>	⑤現時点では実施しない		
38	施策全体に対する意見		<p><観光対策の費用対効果の検証> 観光施策に予算(H30観光戦略課予算:約1億円)を費やしただけの経済効果がどれだけあるのか、検証する必要がある。 また、まち(商店街など)の活性化手段として、観光施策があるのだという意識を市が持つことも大切である。</p>	④検討課題とする	<p>現時点では、ご提言にある経済効果把握の重要性は理解しつつも、人的・予算的にも検証要素が困難であり、来訪者数等の把握に留まっているのが実情です。 ご提言No1の回答のとおり、簡易試算等でも対策が可能か、先進事例等も参考にしつつ、調査研究を積極的に進めたいと考えます。</p>	観光戦略課 産業振興課